

(代表質問)

質問日	令和 5 年 6 月 16 日 (金)		質問方式	分割方式			
質問順位	3	会派名	公明党	議席番号	37	氏名	黒田 豊
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 浜松をもっと元気に	<p>浜松をもっと元気にするための施策として、市長及び産業部長に以下伺う。</p> <p>(1) 東街区のにぎわい創出のためにアクト通りに地下街を整備するなど、活性化に向けた取組について伺う。</p> <p>(2) 浜松市役所を元気にするについて伺う。 ア 新市役所移転新築計画策定について伺う。 イ 職員が市民と向き合い、地域課題解決のために立ち向かう姿勢が必要である。そこで、市職員のさらなる意識改革が必要であると考えて伺う。</p> <p>(3) 文化芸術拠点整備で浜松を元気にするについて伺う。 ア 新美術館建設構想策定について伺う。 イ 野外音楽堂設置について伺う。</p> <p>(4) 浜松をもっと元気にするために、スポーツ政策を通じてハード施設整備とともに地域の活性化などについての市長の考えを伺う。</p> <p>(5) 若者を元気にするために、奨学金返還支援事業の助成内容について伺う。 ア 現在の認定企業数と支援対象者数について伺う。 イ 助成額の増額と募集人員の拡充について伺う。</p> <p>(6) 「中継物流拠点のまち・浜松」を全国に発信し、産業の活性化を図ることについて伺う。</p>						<p>中野市長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>北嶋産業部長</p> <p>〃</p>
2 教育問題について	<p>(1) 夜間中学校設置について伺う。</p> <p>(2) 教職員の負担軽減策について伺う。 ア 学校給食費の公会計化が始まったが、その効果について伺う。 イ 部活動の地域移行について、現状と今後の計画について伺う。</p> <p>(3) 本市の幼児期から高等学校までの一貫した発達支援教育体系の構築と、市立高等特別支援学校設置について伺う。</p> <p>(4) 市立幼稚園における、発達支援教育の充実について伺う。</p>						<p>宮崎教育長</p> <p>〃</p> <p>〃</p> <p>吉積こども家庭部長</p>
3 支援が必要な人のために	<p>(1) ひきこもり支援をさらに加速化させる必要がある。そのためには、面的にきめ細やかな体制整備が必要となるがその考えを伺う。</p>						山名副市長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	(2) 障がい者相談支援センターについて、迅速な相談対応構築のために、面的にさらなるきめ細やかな体制整備が必要と考えるが伺う。	鈴木健康福祉 部長
4 公共交通の充実 について	(1) 地域交通について市長の考えを伺う。 (2) 地域バスにおける収支率は一つの目安とすべきであり、数字そのもので撤退の基準とする考えは改めるべきと考えるが見解を伺う。	中野市長 井熊都市整備 部長
5 動物愛護事業に ついて	動物愛護教育センターについて以下伺う。 (1) 申請手続の簡素化のためのデジタル化や、窓口を区役所・行政センターでも可能とする体制を構築することについて伺う。 (2) 市民のため、動物の避妊手術費の負担を軽減すべきと考えるが伺う。 (3) 動物愛護関連条例の制定に着手しているが、今後のスケジュールについて伺う。 (4) 地域猫活動充実のためのTNR活動の啓発強化について伺う。	中村花みどり 担当部長
6 浜松市沿岸域の 活性化のために	(1) 本年度当初予算に道の駅設置のための調査費1500万円が計上されているが、調査内容とその効果について伺う。 (2) 昨年5月議会代表質問において、馬込川河口部への水門設置により景観が一変することに鑑み、周辺整備を行うよう提案したが、その後の検討状況について伺う。	石坂企画調整 部長 吉澤技術統括 監
7 帯状疱疹ワクチン 助成制度の創設 について	帯状疱疹ワクチン接種に対する助成制度を創設すべきと考えるが見解を伺う。	中野市長
8 家庭ごみ有料化 について	家庭ごみ有料化について議論が進められ、様々な市民の声が寄せられているが、この施策についての市長の考えを伺う。	中野市長
9 消防団へのイン センティブ付与に ついて	令和2年5月議会代表質問において、岐阜県での取組を例として消防団・水防団へのインセンティブについて質問をしたが、前回の質問以降の消防局の取組と、併せて、新たな支援策として、消防団員・家族へのインセンティブの充実について見解を伺う。	太田消防長